




## まちの元気は、みんなの日々の笑顔から!

本来であれば、10月・11月といえば「食欲」「芸術」「スポーツ」の秋ということで、それらに因んだイベント等が目白押しの時期ですが、私の周りでも種々のイベントが自粛により中止となっており、まち全体が活気を失ってしまったようで、なんとも寂しい思いを抱いております。しかし、こんな時だからこそ、みんなで元気を出して、笑顔で過ごしていきたいと思っております。笑顔で人と接すれば周りの人も笑顔になり、そして街に元気が戻ってくると信じているからです。

9月定例会議の閉会後は、すぐに決算特別委員会が始まり、私は委員長として会の進行を務め、令和元年度の決算の審査を行います。また10月中旬には、国への各種要望のため会派政務調査会で上京もいたしました(裏面に詳細掲載)。今は、「今できる様々な対策を精一杯やる」という思いで、忙しく、しかし笑顔も忘れずに日々課題に取り組んでおります。


滋賀県議会9月定例会議にて下記項目について質問を行いましたので、要約してご報告させていただきます。(令和2年9月25日一般質問より)

### 新政権への期待とこれからの滋賀県政の取り組みについて

 9月16日に菅義偉氏が第99代内閣総理大臣に任命され、新しい政権がスタートしました。また本県からは、こやり隆史参議院議員が、主に医療・福祉分野を担当する厚生労働大臣政務官に就任され、本県にとってもコロナ禍のなか国とのラインが一層心強いものになったと歓迎しています。そこで、菅政権のスタートに当たり、知事が新総理にどのようなことを期待されているのか伺います。

#### <知事の回答>

今私たちがいる社会は、長寿命化、気候変動の影響など、まさに未知・未経験の「変化の波や渦」の中にいるという認識をともに持つ必要があると思います。これらの課題解決のため、地方の役割がこれまで以上に求められており、特に、新型コロナウイルスへの対処が喫緊の課題となる中で、国と連携しながら、県民を守り、コロナ後を見据えた新しい地域づくりに挑戦していく必要があると考えています。菅総理には、地方の実情に目を向け、地方のための改革をさらに進めていただくことを期待しています。

 菅政権も地方創生を掲げておられます。今後の滋賀県のためにも、新政権の方向性をしっかりと捉えて積極的に対応していく姿勢が求められます。そこで新政権が打ち出そうとしている政策のどの部分に注目し、県政に積極的に取り入れていこうとされるのか、今後の県政の取り組みについて知事の所見を伺います。

#### <知事の回答>


大きく3つの政策に注目しているところです。1点目は、デジタル政策の推進です。行政手続きのデジタル化による県民サービスの向上、ICTを活用した産業の振興など、スピード感をもって取組を進めたいと思います。2点目は、規制改革の推進です。県ホームページで、皆さんから県行政における実情にあわない規制や手続きの簡素化に関するご意見をいただく取組を進めます。3点目は、不妊治療を受けられる方々への支援です。保険適用実現に期待するとともに、社会の理解を促進することも重要だと考えます。

これら3点について、国と連携し、国の取組をうまく取り入れながら、本県の実情に応じた施策を展開できるよう、私自身のリーダーシップを発揮し、スピード感をもって進めたいと思います。

政府が日本の活力につながるとして掲げる「自助・共助・公助、そして絆」の社会。なかでも私は「共助」の姿勢をより大切にす  
る社会をつくるのが、今のこの時代には必要だと思います!




### 立命館大学情報理工学部移転をめぐる諸問題について

 立命館大学については、その誘致の際に約135億円の補助金を支援しており、平成6年のBKC開設以来、本県ならびに草津市の発展になくはならないものとなっています。今回の、情報理工学部と研究科が移転することによる損出はどのくらいと試算されているか伺います。



#### <総合企画部長の回答>

定量的に把握することは難しいですが、情報理工学部の移転により、ICT人材の育成や、先端的な研究に基づく産学官連携、地元小学校を含む地域との連携などへの社会的影響が生じると考えています。また、経済的影響として、教員数や学生数が減少すれば、それらの消費支出の減少や、下宿先のマンション経営、地域の様々な活動への影響が大きいと考えています。

 私が最も危惧していることは、大学の都心回帰の流れから、今回の立命館大学の決定を機に私立大学の流出、廃学が雪崩式に起こることです。コロナ禍で変化する暮らしの中で、本当の幸せを考えていかななくてはならない今、県内の大学の知見はますます必要となっています。今後は、例えば県と大学と共通の課題に対する事業をさらに実施するなど、県内私立大学への支援策について、本腰を入れて考えていく必要があると思いますが、知事の所見を伺います。

#### <知事の回答>

これまで各大学等と意見交換を行い、ニーズや課題の把握とともに、7大学と包括連携協定を締結して、特徴的な研究シーズや学生の力を活かした連携を進めてきたところです。また、学長との意見交換を受け、今年度から各大学が参画し連携する「SDGs県内大学つながる月間」の取組を行っているところです。今回のコロナ感染拡大にあたって、一人暮らしの学生に対して近江米など食料品の提供を行ったところですが、今後も普段から意見・要望を聞きながら、滋賀の活性化や、地方創生などの課題に対して、大学との新たな連携や支援の在り方について考えていきたいと思っています。

本県としては、大学・学生と連携して一緒に大学づくり、地域づくり、ひいては県づくりを行っていくべきであり、まさに「学生よし」、「大学よし」、「滋賀県よし」の「三方よし」を目指して、大学の県外流出を食い止める様々な努力をするべきです!



滋賀県議会議員  
教育・文化スポーツ常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員  
琵琶湖・気候変動対策特別委員会 副委員長

自民党滋賀県支部連合会  
副会長

奥村 芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

活動日記毎日更新中!

<http://www.genki-shiga.jp>

facebookも  
チェック!→

奥村 芳正

携帯でも  
発信して  
います!→





## 国スポの滋賀大会開催延期を受けて

先の9月定例会議の冒頭において、知事より、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催年の延期についての報告がありました。今年開催予定であった鹿児島県の両大会の延期に伴い、鹿児島県、日本スポーツ協会、スポーツ庁から、滋賀県の両大会の1年延期の要請があり、苦渋の決断の末、延期を受け入れたとの内容でした。これにより滋賀県での開催は2025年(令和7年)となります。

延期については、国難ともいえるコロナ禍によるものですので、致し方ないとは思いますが、県が少年種別(18歳以下)での参加を見越して強化してきたターゲットエイジの最上級生(現・中学2年生)336人は、

延期に伴うさまざまな影響は避けられないと思いますが、支援の要望も含め、成功に向けて、皆で力を合わせて盛り上げていきたいものです!



昨年の鹿児島県での現地視察にて▶



延期によって2025年の滋賀県大会の少年枠から外れてしまいます。これについては救済策が取られるべきだと思いますが、それは延期を受け入れる前に条件として提示すべきであったと思います。県議会では、滋賀大会の前年の佐賀大会で開催県並みの扱いである予選免除などの救済措置を日本スポーツ協会などへ要望していくとしています。

## 会派政調会による国への要望活動

10月13日・14日と会派政調会のメンバー6人で上京し、国要望を行いました。初日は、国道1号線バイパス、国道8号線バイパス、大津・山科バイパス等の道路整備の一層の促進と161号線の改良整備と早期完成、大戸川ダム建設事業の推進について要望しました。2日目は、小此木八郎国家公安委員長へ警察活動推進体制の整備について要望し、当県の警察官1人あたり622人と負担率が全国ワースト3位になっていることから増員を要請しました。総理官邸では内閣官房副長官に来年度の滋賀県に対する予算獲得のための特段の配慮をお願いしました。更に厚労省では三原じゅん子厚生労働副大臣、こやり隆史厚生労働大臣政務官と面談し、新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出いたしました。



▲ 菅総理と



▲ 小此木国家公安委員長と



▲ 三原厚生労働副大臣と

## 令和2年 秋の褒章／第35回 危険業務従事者叙勲

秋の褒章および警察、消防、防衛、矯正などの危険業務に長年従事し、社会貢献された方々が対象となる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。受章された皆様の長年にわたるご活躍に心より感謝申し上げます。

【草津市から受章された方々】

〈敬称略〉

緑綬褒状	社会奉仕活動功績	草津ほほえみの会
黄綬褒章	業務精励	松田 正道
藍綬褒章	消防功績	井口 裕夫
瑞宝双光章	警察功労	岡 義博

## 奥村よしまさ県政報告会につきて

毎年新春に開催しておりました県政報告会につきては、コロナ禍の現状を考慮いたしまして、開催日を延期いたします。ご参加を予定していただいていた皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、開催日が決まりましたら改めてご案内申し上げます。

## 滋賀県難病対策推進議員連盟について

私ごとですが、難病162号に指定されている「水疱性類天疱瘡」を今年の1月末から患っております。皮膚に水疱ができる自己免疫性疾患で、私の場合は特に手足の腫れがひどくなり、発症してから数ヶ月間は痛みとかゆみで大変苦労しました。現在は快方に向かい、投薬も必要ない状況ですが、症状が出てから暫くは、原因不明や治療に向かわないことによる不安に苛まれる日々を送りました。難病の症状は、様々ではあると思いますが、罹患されている方々がそれぞれご苦労されていることを肌身を感じているところです。

私が代表を務める難病対策推進議員連盟は発足して早11年となりますが、今後も、効果的な治療法の開発と医療の質の向上や、公平・安定的な医療費助成の仕組みの構築、県民の理解や難病患者の方々の社会参画促進など、より充実した難病対策が推進されるよう、県当局や政府に対してしっかり働きかけていきたいと思っています。

## 草津市市政功労者表彰

多年にわたって市の政治、経済、文化、社会その他各分野において市政の振興に貢献いただいた方、また市民の模範と認められる行為をされた方々が表彰されています。皆様のこれまでのご功労に心より感謝申し上げます。

自治功労	社会功労	
市議会議員として	社会福祉の向上	社会福祉の向上
伊吹 達郎	伊勢村 絹枝	ぼちぼちの会新堂
小野 元嗣	今村 貞雄	ホッとサロンひだまり
堀江 智子	小川 幸保	市川 嘉重
農業委員として	奥田 二三子	保健衛生の向上
中村 繁樹	川瀬 吉明	山本 拓実
町内会長として	谷 正美	長谷川 秀男
大川 重孝	難波 省三	田中 覚
先川 且民	平田 登美子	千葉 玲子
橋本 頌造	山本 一房	青少年の健全育成
吉岡 孝治	深田 圭一	飯田 章一
消防団員として	黒川 英男	中野 宗城
小山 博	佐山 栄子	松村 晴美
鷹羽 崇	八幡 知行	湯浅 敦
馬場 充利	福井 敏子	体育の振興
古川 彰男	奥村 さち子	稲田 優
堀井 光洋	宮島 章子	岡山 茂子
前田 幸広	集のんき会	藤原 信一
	いろはもみじ会	馬場 良長
	グリーンハイツ北町一歩のぼのサークル	環境保全の推進
	グリーンハイツ南一歩	草津湖岸コハクチョウを愛する会
	のんびりの会	中村 登美子

〈敬称略〉

11月3日の表彰式には私も出席させていただき、これまでのご功労に心から敬意と感謝の意を表したいと思っています。

